

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/02/15

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.10	0.05
JPY/THB	0.2397	0.0006
USD/JPY	150.58	-0.22
EUR/THB	38.72	0.13
EUR/USD	1.0727	0.0018
USD/CNH	7.224	-0.007
SGD/THB	26.77	0.10
AUD/THB	23.43	0.17
USD/INR	83.03	0.02
USD Index	104.72	-0.24

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.288	0.023
10Y (THB)	2.578	0.026
5Y (USD)	4.240	-0.076
10Y (USD)	4.255	-0.059

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,990.3	-2.6
WTI (Oil)	76.64	-1.23
Copper	8,197.0	-63.0

Stock

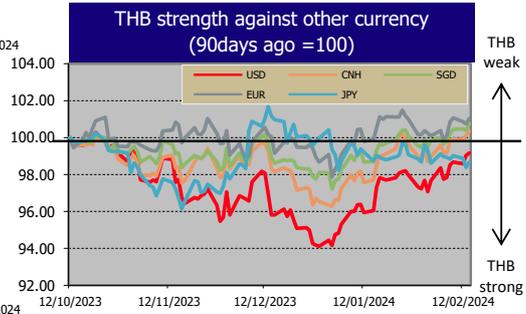
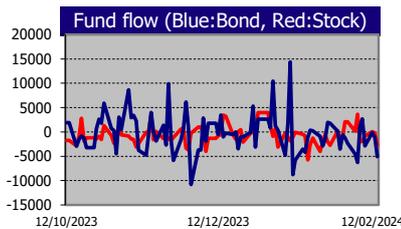
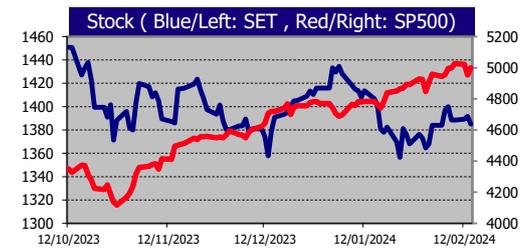
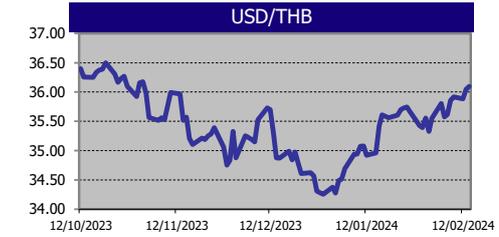
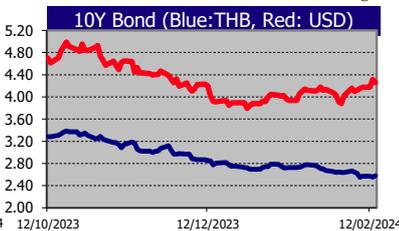
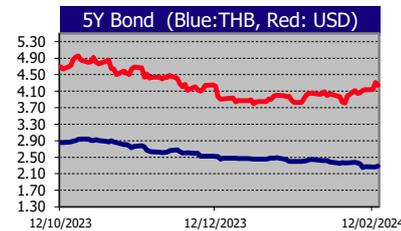
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,385.11	-6.62
NIKKEI (JP)	37,703.32	-260.65
DOW (US)	38,424.27	151.52
S&P500 (US)	5,000.62	47.45
SHCOMP (CN)	2,865.90	0.00
DAX(GER)	16,945.48	64.65

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,701)	-2500.0
Bond net flow	(5,079)	-3861.8

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは僅かに上昇。36パーツ台前半で取引を開始。3か月ぶりのパーツ安水準だったが、前日の強い米1月CPIと米金利高にサポートされてドルパーツは底堅く、バンコク時間終盤に海外勢の参加が増えてくと上値を試す動きも見られた。海外時間、米PPI改定値発表は特に影響なく、引き続き高値圏をキープ。翌日にも米1月小売売上高等注目度の高い指標発表を控えている警戒感から、米金利低下への反応薄。ドルパーツは36.10と連日終値36パーツ台を維持した。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅に下落。150円台後半で取引を開始。節目の150円を抜けたことで朝方に神田財務官から円安牽制発言があったが、ドル円の下げは限定的。但し、水準としてはドル売りを誘発しやすかったため、夕刻にかけて緩やかに150円台前半へ。海外時間、米1月CPI後の金利上昇を巻き戻すように米金利が低下するも、力強い米経済による利下げ時期後ずれ観測や、直近の日銀幹部による緩和スタンスを継続する旨の発言から150円台半ばで底堅く推移。150.58と前日比小幅ドル安で引けた。

Bangkok Dealer's Eye

今週13日に発表された米1月CPIの結果を受け、市場の米利下げ観測が後ずれし、気が付けば市場が織り込む年内の利下げ回数は3回強と、昨年12月にFRBがドットチャートで示した3回に近づいている。何度か本欄で記載した通り、中銀と市場の金利見通しが乖離している場合、得てして中銀の見方に収斂していく顛末が過去多かったが、結局今回も同様の展開となった。日銀による金融政策の正常化パスについても、スワップ市場の観測では1回あたり0.1%の変更として年内2回強の利上げが既に織り込まれているが、日銀の見方に収斂するとすれば、マイナス金利解除後利上げなしという展開も想定しておくべきか。いずれにしても米金利見通しに関する市場の修正は一段落したと見られ、今後の市場を見るにあたって留意すべきは株価動向と考える。13日は米国株式が大きく下落し、昨日は日経平均も下げた。昨年後半から続く日米の株高地合いは、米国経済のソフトランディングへの期待が背景にある。このまま米国でインフレ率が高止まりし、高水準の政策金利が長引くと、今度は米経済減速のリスクが高まり、株式市場下落の契機となりえる。強いドルが転機を迎えるタイミングを測るうえでも、日米株式市場の動向には注目しておくきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.